

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 野田芽吹会

千葉県野田市下三ヶ尾875-1

令和5年度 法人運営 事業報告

1 理事会・評議員会等の開催について

年月日	会議名	議題・報告事項
令和5年4月18日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活援助野田芽吹学園運営規程等の一部改正について ・ 評議員会の招集について
令和5年4月27日	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事の選任について
令和5年5月23日	決算監査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告について ・ 令和4年度計算書類について
令和5年6月8日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業報告及び決算の承認について ・ 理事の選任について ・ 監事の選任について ・ 定時評議員会の招集について
令和5年6月26日	定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について ・ 理事の選任について ・ 監事の選任について
令和5年6月27日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の選定について ・ 副理事長の選定について
令和6年3月11日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度事業計画について ・ 令和6年度収支予算について ・ 評議員会の招集について
令和6年3月27日	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度事業計画について ・ 令和6年度収支予算について

令和5年度 障害者支援施設 野田芽吹学園 事業報告

当施設は、第一種社会福祉事業の障害者支援施設の経営（施設入所支援：定員50名、生活介護事業：定員50名）と第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業の経営（短期入所事業（定員6名）の事業を実施しました。平均入所年数が22.2年となり、20年以上入所されている方が23名、40年以上の方が14名となっております。

令和5年5月にコロナが2類から5類に移行し、少しずつ施設の中が動き始め短期利用者の利用人数や回数も増えてきました。

全体の平均年齢は53.1歳となり、65歳以上の利用者が9名、50歳以上が32名と年齢層は依然として高めです。しかし、20歳代・30歳代の利用者さんが新しく入所されていますので年齢の幅は広がってきています。

女性に70歳代の方が多く、体力や筋力の低下などに今後も注意が必要です。

全体の平均障害支援区分は5.82となりました。

今後の課題としては、「支援」と「介護」を両立しながら過ごせる環境づくりが求められます。

1 利用状況

(1) 入退所状況：定員50名（令和5年4月から令和6年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26
女性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
合計	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	50	50
	1名 退所				1名 入所 1名 退所			1名 入所				

(2) 利用者の障害支援区分（令和6年3月31日現在 平均）

野田芽吹学園		区分4	区分5	区分6	合計	重度加算
利用者の	男性利用者	0名	6名	20名	26名	19名
障害支援区分	女性利用者	0名	3名	21名	24名	19名

(3) 短期入所（定員6名）利用状況

年度	延べ人数	開所日数（1日平均）
令和5年度総合計	789名	366日(2.1人)
令和4年度総合計	890名	365日(2.4人)
令和3年度総合計	676名	365日(1.8人)

(4) 日中一時利用状況

委託契約・利用状況 野田市：柏市：流山市

委託市	利用形態	人数	延日数（日）	利用日数
野田他	在宅（レスパイト）	1名	2	都度
野田	定期利用	2名	100	週2回
	令和5年度合計	3名	102	1日平均0.27人
	令和4年度合計	2名	20	1日平均0.05人

(5) 入退院状況

性別	年齢	病名	入院期間	日数（日）
男	58	腎不全	R5.4.14～8.31	140
男	63	左大腿骨転子部骨折	R5.5.4～6.2	30
男	47	肺炎	R5.12.28～R6.1.29	33
男	46	肺炎	R6.1.31～2.21	22
延べ日数				225
延べ人数				4

(6) 帰宅状況

(令和2年度15人) (令和3年度0人) (令和4年度1人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2		1	5

※令和5年5月より、新型コロナウイルスが5類に引き下げられて以降、少しずつ帰宅が増えました。ご家族に、帰宅は1泊程度でお願いをしました。

2 職員の状況 (異動状況を含む)

※ () は非常勤数 (単位:人)

職 種	令和5年 4月1日	年度内		令和6年 3月31日	令和6年 4月1日
		退職・異 動	採用・任 用		
施 設 長	1	0	0	1	1
事 務 長	(1)	0	0	(1)	(1)
事 務	1	0	0	1	1
看 護 師	1	0	0	1	1
栄 養 士	0	0	0	0	0
調 理	0	0	0	0	0
サ-ビス管理責任者	1	0	0	1	1
生 活 支 援 員	27	5	1	23	23
補助員 (パート)	(19)	4	3	(18)	(18)
合 全 体	51	9	4	46	46
計 管 理 部 門	2 (1)	0	0	2 (1)	2 (1)

3 管理業務状況

(1) 健康管理

医療 体制 ・ 通 院 状 況	○嘱託医による毎月1回の診察または相談の実施					
	診療科目	病院名	令和5 年度	令和4 年度	令和3 年度	令和2 年度
	精神科	岡田病院				
	内科	小張クリニック・新村医院 瀬戸クリニック・野田病院	41	31	41	41
	外科	小張クリニック	1	4	4	7
	整形外科	小張クリニック・しばやま整形外科	49	44	27	21
	脳外科	小張クリニック	5	7	7	5
	消化器内科	小張クリニック	9	12	7	12
	腎内科	小張クリニック	5	12	8	11
	呼吸器内科	小張クリニック	10	12	2	2
	循環器内科	小張クリニック	2	0	0	0
	皮膚科	小張クリニック・うめさと皮膚科	36	35	39	38
	眼科	小張クリニック・いちおか眼科	15	7	12	19
	耳鼻咽喉科	小張クリニック	0	1	2	1
	泌尿器科	小張クリニック	20	26	15	14
	歯科	瀬畑歯科	82	103	63	24
	婦人科	小張クリニック	22	18	12	12
	口腔外科	日大松戸歯科部附属病院	0	1	4	0
	緊急時	夜間救急対応・救急車対応	3	5	5	6
	延べ人数		300	248	318	248
健 康 管 理	<p>○年2回健康診断の実施（令和5年8月4日、令和6年2月22日）</p> <p>○毎月1回、体重測定・隔月血圧測定 前期検便(9月) 後期検便(3月)</p> <p>○インフルエンザ予防接種（令和5年11月24日）</p> <p>○職員対象緊急時の対応研修 都度感染症等職員会議時実施</p>					

(2) 施設整備管理業務

施設設備の修理・工事	内 容
施設設備の保守点検 委託業務	・エレベータ保守点検・汚水処理（ポンプ）・グリストラップ清掃・給水設備維持管理・水質検査業務・消防設備（SP） ・給食設備点検
施設設備の管理業務	・害虫駆除・産業廃棄物・一般廃棄物処理
施設会計業務	・会計事務所委託

4 ボランティアの受入状況

(1) 誕生会ボランティア（毎月保護者会時実施）

野田市社会福祉協議会ボランティアセンターにボランティアを要請しました。

(2) その他のボランティア

令和5年度は「理容ボランティア」と「そば打ちボランティア」の方が来園されました。

また、芽吹まつりでは「柏おやじダンサーズ」と「バルーンアーティスト」に出演依頼をし、来園されました。

5 実習生受入状況

期間	学校名	人数（名）
5月8日～5月19日	埼玉東萌短期大学	2
6月1日～6月11日	彰英保育福祉専門学校	2
6月12日～6月24日	川村学園女子大学	2
7月27日～8月8日	江戸川学園おおたかの森専門学校	2
8月17日～8月29日	東京YMCA保育専門学校	1
9月2日～9月13日、	埼玉学園大学	2
3月18日～3月29日	越谷保育専門学校	2
3月18日～3月30日	共立女子大学	2
合計		15

この他、社会福祉士実習生を6名受け入れています。（実習期間各1か月）

6 事業実施状況

(1) 施設運営状況

①個別支援計画の作成・管理、支援マニュアル

個別支援計画の作成・管理	福祉系資格取得者もしくは、副主任以上の職員が、担当支援員からも、意見を聞きながら、個別支援計画書案を作成しました。サービス管理責任者が、内容を確認し正式な案となり、再度各担当に内容を確認後、ご家族・ご本人に説明しご了解をいただき、半年に1回見直し、前期・後期の計画書を作成しました。
支援マニュアル	統一した支援を行うには、マニュアルを作成し実行することが重要となります。 作成するにあたっては会議などで利用者理解を深める一方、内容の更新にも努め、今の課題や足りないものは何なのかを支援員にわかりやすく伝え、誰もが取り組める支援マニュアルづくりをこれからも行います。 日中活動の作業提供方法などでも、支援方法の統一化を図るため支援手順書を作成し、統計・記録を残しながら成果を上げています。

②苦情解決委員会活動

第三者委員の相談	2か月に1度の第三者協議会を開催したことにより問題・課題の共有ができ、次の協議会までの課題について検討することが出来ました。職員会議において協議会で挙げた課題を報告し、日々の支援の問題点確認に役立ちました。 利用者との面談は一部再開していますが、館内の点検は感染症の状況を見ながら、第三者委員と相談しながら少しずつ再開することとしています。
苦情相談窓口の設置	随時相談を受け付けています。苦情受付担当者（支援課長）、苦情解決責任者（施設長）が常時対応しました。日々の利用者さんの声から今の課題を模索しました。

③支援関係会議の開催

朝会 (毎朝開催)	支援員・補助員が参加し、前日からの利用者さんの様子や注意事項の確認を行いながら情報共有し、事故・トラブルがない日課を過ごせるよう配慮しました。
職員会議・補助員会議の開催	月間予定の周知と権利擁護、障がいの理解、リスクマネジメント研修、外部研修の伝達研修等を行い、スキルアップに努めました。
男性棟・女性棟会議の開催	各棟での支援統一のための課題・問題の抽出、支援内容の変更・訂正を中心に話し合いを行いました。全員参加が難しいため、書面参加で事前に意見を聞きくことで意見の交換を行いました。また決定されたことは各棟内で共有し、統一した支援ができるように努めました。
個別支援会議	毎月数名の利用者さんを対象とし、支援課長・サービス管理責任者、男女棟・作業班責任者、各作業班主任・副主任、担当支援員、看護師等で計画書の内容の確認や直近の様子から支援の変更が必要かどうかなどを検討する会議を実施しました。対応の難しい方への対応については、毎月行われる各棟の会議だけでなく情報共有し、随時変更を行ないました。また、行動障害のある方に対しては、支援手順書を作成し、その手順書に沿って支援行いました。
管理者・責任者会議	管理者会議では、行政や福祉協会の情報や、法制度の変更等の情報共有と各事業所の近況報告を行いました。 責任者会議では、主に施設内で支援面・環境面の問題点や課題などのピックアップし、改善策の検討を行いました。
主任会議	現場の声を集約し、現場の中で支援方針を決めることで主体的に動くことが可能になり、スピーディーな対応が出来るようにしました。

④施設内研修の開催

月 日	内容	講師	参加者
4月4. 5. 6日 (3日間)	新人研修	施設長・課長・ 看護師	新人職員

4月27・28日	リスクマネジメント研修(動画共有) 法人理念・倫理綱領・行動規範確認	支援課長	職員 非常勤
5月25・26日	リスクマネジメント研修(動画共有) 虐待防止研修「アンガーマネジメント」(動画座学)	支援課長	職員 非常勤
5月25日	服薬研修(服薬の必要性とその手順)	課長・看護師	職員
6月22・23日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
6月22日	虐待防止研修「障害特性の理解」(動画座学) 介護技術研修「移乗介助」(体験)	支援課長	職員
7月27・28日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
	支援技術研修「応用行動分析」(動画座学) 介護技術研修「オムツの付け方」(体験)	外部講師	職員
7月28日	虐待防止研修「障害特性の理解」(動画座学)	支援課長	非常勤
8月24・25日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
	権利擁護研修(グループワーク)	きりんの会	職員
8月25日	支援技術研修「応用行動分析」(動画座学)	支援課長	非常勤
9月24・25日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
9月25日	権利擁護研修(グループワーク)	作業班責任者	非常勤

10月26・27日	リスクマネジメント研修(動画共有) 感染症研修(座学・体験)	支援課長 看護師	職員 非常勤
11月22・24日	リスクマネジメント研修(動画共有) 服薬研修※これまで起こったミスを 振り返る	支援課長	職員 非常勤
11月24日	感染症研修(手洗い:体験)	看護師	非常勤
11月25・26日	リスクマネジメント研修	支援課長	職員 非常勤
12月21・22日	リスクマネジメント研修(動画共有) 虐待防止研修「虐待通報事例の共有」	支援課長 施設長	職員 非常勤
12月22日	感染症研修(ノロ対応キット使用 法:体験)	看護師	職員 非常勤
1月25・26日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
2月21・22日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
3月28・29日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員 非常勤
3月28日	伝達研修「薬の知識研修」	支援員	職員 非常勤

⑤施設外研修

- ・強度行動障害基礎研修(基礎研修) 3名
- ・強度行動障害基礎研修(実践研修) 1名
- ・強度行動障害支援者養成研修 1名
- ・福祉協会 新人研修 3名
- ・県社協研修会 「薬の知識研修」1名
- ・自閉症基礎講座(3回 オンライン)2名

(2) 委員会活動

- ・「行事委員会」は誕生会の時に社協のボランティアセンターに外部ボランティアを依頼し、誕生会を盛り上げていただきました。また、「サンスマイル」や「おひさまといっしょに」などの参加企画をしました。
- ・「防災委員会」は、令和5年度は水害を想定した訓練を取り入れました。また、1月に発生した能登半島地震を踏まえ、災害時の備蓄品の再確認を行いました。
また、例年通り AED・心肺蘇生法の講習も実施しました。
- ・「広報委員会」は年3回定期的に広報紙の発行と保護者向けの学園通信の発行を行いました。
「学園通信」はご家族に学園の様子を発信するツールとし、広報紙は施設での行事報告を中心に発信していきました。
- ・「物品管理委員会」はおむつや衛生用品の補充や管理などを行いました。
令和5年度は使用している衛生用品の見直しを行い、質を下げずにコストを下げる工夫を行いました。
感染対策関連物品については、一定量の確保を維持できるように在庫の確認をこまめに行い、在庫切れを起こさないよう配慮しました。
- ・「環境委員会」は環境報告を基に修繕・修理を迅速に行いました。
令和5年度は業者が入っての修理する項目が多かったです。
- ・「健康・栄養委員会」は利用者の健康管理を支援・医務・栄養の観点から分析し、各棟責任者や担当と連携して対応しました。特に集団感染後による体重減少と体力の復調と高齢利用者さんの体調管理に配慮しました。
コロナウィルス感染対策については手指消毒と、職員のマスク着用の徹底を継続しました。
- ・「給食委員会」は利用者にも参加してもらい、希望メニューや手作りおやつを検討しました。
- ・特別委員会の「きりんの会」は権利擁護委員会として職員への啓蒙活動を中心に活動しました。

(3) 居室活動

個別支援計画に添った外出を実施しました。5月からのコロナ5類移行に伴い、少しずつ規制を緩和し外出の行動範囲を広げていきましたが、大型商業施設などへの外出はまだまだ計画が伸びず、ドライブやファミリーレストランでの昼食という形の活動が中心となりました。

(4) 日中（作業班）活動

4グループ毎に趣向を凝らし、利用者さんが作る・関わる工程を多く取り入れた活動（おやつ作りや昼食会など）を継続しながら、少しずつではありますが外に出る機会を増やし、体験・経験する機会を増やしていきました。

(5) 地域生活移行のための試み

①クラブ活動

令和5年度も密をできるだけ避けるように配慮しながら、誕生会でカラオケを実施しました。

樽太鼓は叩ける支援員が増えてきているので、発表できる場を広げていきます。

②地域生活体験ルーム（多目的棟内）

緊急短期の利用者が利用出来るように準備をしています。令和5年度の利用実績はありませんでした。

今後は災害時にも利用できるように整備を進めていきます。

(6) 地域活動

参加行事・施設行事等

月 日	行事名	内容
6月17日(土)	おひさまといっしょに	参加 (関宿総合体育館)
7月25日(火)	サンスマイル	参加 (野田市文化会館)
9月14日 11月14・28日 1月30日	日帰り旅行	9月 クリアビューホテルビュッフェ 11月 那須サファリパーク見学 1月 クリアビューホテルビュッフェ
10月8日(日)	芽吹まつり	法人主催のまつりを初開催
1月13日(金)	新年会	利用者・職員で新年を祝う

(7) 利用者家庭との交流

令和5年度は保護者会も再開され、家族との外出なども世間の状況を踏まえたうえで可能な限り実施できるように配慮しました。帰宅・旅行についても感染状況を確認しながら1泊までを可能としてきました。今後の期間延長については再度検討していく方向でいます。

(8) 特別活動

①きりんの会活動(人権擁護・人権侵害防止委員会)

- ・虐待防止マネージャー1名と主任2名、新人2名、合計4名の支援員を委員に任命し、人権に配慮する支援環境作りに向けた目標を設定し、設定した目標の振り返りを参考に、次の目標に繋げていきました。

7 事務環境整備・施設環境整備

(1) 事務環境整備

①事務環境状況

- ・引き続き、事業所ごとの事務処理・会計処理を進めることで収支の明確化に努めました。
- ・パソコンは、リース期限を迎えたため入れ替えを行いました。

(2) 施設環境整備（社会福祉充実計画）

事業名：野田芽吹学園建物屋上防水工事及び外壁塗装事業

- ・大規模改修工事から10年以上を経過したため、7月14日から約4か月をかけて実施しました。

8 補助事業の状況

令和5年度は該当事業なし

9 借入金の状況

借入金なし

10 事故報告

(1) 怪我の報告 5件

- ・転倒による骨折 2件
- ・打撲による骨折 1件
- ・利用者同士の接触による怪我 2件

11 その他

(1) 感染症報告

① コロナウィルス感染

令和6年2月28日に利用者感染確認の第1報、その後、利用者32名、職員13名が感染。3月13日に収束を野田保健所・野田市に報告しました。

令和5年度 相談支援事業所 サポート芽吹 事業報告

サポート芽吹では、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む為に福祉サービス等が利用できるように計画相談を作成し、特性に合ったサービスが提供されているか他に課題はないかと定期的なモニタリングを行い、関係機関や専門機関と連携し支援を行いました。

1、相談支援実績（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（1）計画相談・モニタリング件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規												1	1
計画作成	3	3	4	4	1	1	3	6	4	9	5	7	50
モニタリング	12	18	21	8	11	32	9	13	28	11	9	29	201
合計	15	21	25	12	12	33	12	19	32	20	14	37	252

令和4年度実績

計画相談：新規3 計画作成：37 モニタリング：196 合計：236

（2）障害児計画相談・モニタリング件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	3	2		4	2	1		2	1		1	1	17
計画作成	5	5	2	2	5	4	3	3	5	7	5	12	58
モニタリング	5	8	13	14	10	12	8	7	4	3	2	9	95
合計	13	15	15	20	17	17	11	12	10	10	8	22	170

令和4年度実績

障害児計画相談：新規10 計画作成：46 モニタリング：71 合計：127

2、野田市相談支援事業委託業務報告書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

(1) 利用者の障がい種別

(単位:件)

	合計	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	172	94		57	21			
障がい児	103	9		94				
合計	275	103		151	21			

(2) 支援方法

	計	電話	来所	訪問	その他
件数	275	132	1	142	-

(3) 支援内容

内容	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消 情緒安定	保育・教育	家族関係 人間関係
件数	40	13	42	160	30	87
内容	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件数	154	82	4		3	

3、相談支援業務の主な内容

- ・精神的不安からくる相談
- ・家族や事業所等の関係に関する相談
- ・申請等の手続きに関する相談・代行
- ・生活上の懸案事項支援

令和5年度 共同生活援助 事業報告

1 基本方針に基づき

- (1) ご利用者が地域での生活が送れるように、地域との共生を図り、安心して暮らせる場を提供しました。
- (2) ご利用者の生活支援（食事提供、健康管理、金銭管理）や日中活動支援（一般就労・通所・余暇支援）を行い、ご利用者の自己選択、自己決定の機会を増やしながら自立した生活が送れるように支援しました。
- (3) 家庭的なホームをご利用者・職員・世話人と共につくり、ご利用者がホーム生活を楽しめるように支援しました。

2 各ホームの定員

【芽ぐみ】男性定員4名【陽の芽】男性定員4名【希の芽】女性定員7名

ホーム	入退所状況	性別	年齢	区分	備考
芽ぐみ	継続	男	33歳	4	一般就労者
	継続	男	36歳	4	一般就労者
	退所 (R5.10)	男	19歳	3	ご自宅へ退去
陽の芽	継続	男	48歳	4	通所事業所利用者
	継続	男	55歳	5	通所事業所利用者
	継続	男	57歳	5	通所事業所利用者
	継続	男	59歳	3	通所事業所利用者
希の芽	継続	女	32歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	39歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	46歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	51歳	5	通所事業所利用者
	継続	女	57歳	5	通所事業所利用者
	継続	女	68歳	5	通所事業所利用者
平均年齢は男性48.0歳、女性48.8歳。平均区分は4.33					

3 開所日数、定員、利用日数

ホーム名	開所日数	利用定員	延べ利用日数
芽ぐみ	366日	4名	911日
陽の芽	366日	4名	1,464日
希の芽	366日	7名	2,143日

4 職員等の人員

- ・管理者 1名【常勤兼務】
- ・サービス管理責任者 1名【常勤兼務】
- ・看護職員 1名【常勤専従】
- ・生活支援員 2名【常勤専従1名・常勤兼務1名】
- ・世話人 28名【非常勤専従26名・非常勤兼務2名】

5 令和5年度の評価

令和5年5月にコロナ感染症が5類に移行され、コロナ過で延期・中止・縮小されてきた趣味活動・散策・イベント参加・買い物外出・外食・理容等を徐々に通常どおりのホーム生活に戻していきました。ご利用者様の外出が増え、ホーム生活の幅が広がり、笑顔が増えた1年となりました。

年度途中で男性利用者1名の退所がありましたが、新たに令和6年4月より男性1名、女性1名の入所があり、これにより、現在は男性1名の空きが生じております。

平均年齢は男性48.0歳、女性48.8歳です。

平均障害者支援区分は4.33と高くなりつつあります。

6 日課及び勤務体制

【平日】

時間	日課	勤務者
6時00分	夜間支援	支援員
	起床支援	
7時00分		世話人
	朝食支援	
8時00分	送り出し	
9時00分	掃除・洗濯 片付け	
10時00分		世話人
11時00分		
12時00分		
13時00分		
14時00分		世話人
15時00分	帰宅支援	
16時00分	掃除・洗濯	
17時00分	夕食支援	
18時00分	片付け	支援員
19時00分	入浴支援	
20時00分	洗濯支援	
21時00分	就寝支援	
22時00分	夜間支援 翌7時 (宿直)	

【土・日・祝日】

時間	日課	勤務者
6時00分	夜間支援	支援員
7時00分	起床支援	
8時00分	朝食支援	世話人
9時00分	掃除・洗濯 片付け	
10時00分	余暇支援 その他	
11時00分		
12時00分		世話人
13時00分	掃除・洗濯 片付け	
14時00分	余暇支援 その他	
15時00分	入浴支援	
16時00分	洗濯支援	支援員
17時00分	夕食支援	
18時00分	片付け	
19時00分	余暇支援	
20時00分	就寝支援	支援員
21時00分	夜間支援 翌8時 (宿直)	
22時00分		

令和5年度 多機能型事業所 芽ばえ 事業報告

「芽ばえ」は、「自立訓練（生活訓練）事業」及び「就労継続支援B型事業」を実施する事業所として、令和元年10月1日に新規開所しました。

1 開所日数、利用定員、契約者数及び利用者数

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

事業名	開所日数	利用定員	契約者数	延べ利用者数
自立訓練 （生活訓練）	244 日	6 人	4 人	768 人
就労継続 支援B型	244 日	14 人	10 人	1,913 人
合計	488 日	20 人	14 人	2,681 人

2 一日のスケジュール

下記のスケジュールに沿い利用者の個々にあった支援を行ってまいりました。

8 : 00	9 : 15	9 : 30	9 : 45	10 : 45	11 : 00	12 : 00	13 : 00	14 : 00	14 : 15	15 : 30
	9 : 30	9 : 45	10 : 45	11 : 00	12 : 00	13 : 00	14 : 00	14 : 15	15 : 30	
送 迎	朝礼 体操	清 掃	作業	休憩	作業	昼食 休憩	散歩 作業	休憩	作業	終了 送迎

3 利用者の送迎

ご希望により、無料で送迎を行いました。送迎業務は安全・安心であることが求められています。安心して乗車していただけるよう努めた結果、1年間無事故で送迎を行うことができました。

4 支払工賃

内職作業を実施し、利用者1人当たり週5日利用している方の平均月額工賃は、8,999円でした。

5 健康管理

医療法人社団啓心会岡田病院と協力医療機関契約を締結するとともに同法人に勤務する医師と嘱託医契約を締結し、利用者及び職員の健康管理に努めてまいりました。

利用者及び職員共に、事故、怪我、などの発症はありませんでした。

5 サービスの質の向上

- (1) 福祉サービスの内容や施設の環境など利用者等からの様々な要望及び意見に対して、第三者委員や苦情受付担当者による相談・援助を行ない、適切な解決に努めました。
- (2) 虐待防止、身体拘束の適正化、ハラスメント対策、感染症発生及び蔓延防止の研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りました。

6 職員体制

下記の職員体制で利用者の支援を行ってまいりました。

職名	勤務体制	備考
管理者（男）	非常勤（2日/週）	
サービス管理責任者（女）	常勤（5日/週）	介護福祉士
生活支援員（女）	非常勤（5日/週）	介護福祉士
職業指導員（女）	常勤（5日/週）	保育士
職業指導員（女）	常勤（5日/週）	保育士
職業指導員（男）	非常勤（4日/週）	